

《就任報告》

当社責任役員 千葉雅雄様におかれましては、平成十年十月五日より戸越六丁目町会々長を務められ、この度、品川区連合町会々長に御就任されました。

これもひとえに、ご活動とご人望の賜物と心からお慶び申し上げます。お体ご自愛いただき、今後ますますのご活躍を心より祈念いたします。

平成二十八年年度

天祖神社総代会開催される

去る五月二十六日氏子総代会総会が開催されました。官司、総代会会長挨拶の後、新氏子総代・神輿総代のご紹介並びに委嘱状の伝達が行われました。氏子総代は豊町六丁目 金子 操様、神輿総代は豊六陸会々長 柴田光伸様です。

また、平成二十七年年度事業・決算報告・並びに平成二十八年年度事業・予算案が承認されました。

〈訃報〉

当神社名誉総代 元二葉三丁目町会々長 松井清一様が五月五日ご逝去されました。

松井様におかれましては、本殿建設の際には氏子総代会々長として多大なるご尽力を頂き、また町の発展の為に貢献されました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝いたすとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

夏越大祓 茅の輪くぐり

六月三十日午後六時より大祓式が執り行われ、多くの方々のご参加者の中、茅の輪をくぐって、各自の諸々の禍祓い無病息災を祈りました。

茅の輪作りは、櫻井宮頭・神輿連合会有志の皆様方により、御奉製下さいました。暑い中の作業でしたが、今年も立派な素晴らしい茅の輪が出来上がりました。皆様の信心なるご尽力により厚く御礼申し上げます。

後日、白子海岸へ、皆様の心身の汚れを移した形代を流す神事が行われます。

※ 茅の輪くぐりは、七月七日(月)七夕までくぐれます。



蛇窪龍神祭

七夕ライトアップ

当神社で最も古い神様、蛇窪龍神をたたえ、七月七日に蛇窪龍神祭が斎行されます。

◎ 日時 七月七日 午前十時より

どなたでも御参列頂けます。

◎ 七月一日～七日

― 夕暮れ～午後八時迄 ―

美しくライトアップされた境内の七夕飾りに、願いを込めた短冊(神社で用意)を付けましょう。

ぜひ、足を運んで頂き、幻想的な風情をお楽しみ下さい。

七夕線香花火ナイト(雨天中止)

東日本大震災・熊本地震での犠牲者追悼行事として、線香花火の全国一斉点火を行います。

◎ 日時 七月七日 午後七時～

(神社境内内)

◎ 対象 小学生以下(必ず父兄の引率)

◎ 線香花火は、全員にお渡しします。

◎ 参加賞 花火セット

(先着七十七名、小学生以下)



月次祭

当社では毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。当日は御神前にて祭儀を厳修し参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、次いで社務所にて「朝粥」を食し歓談いたします。

★五月一日に参列なさった方々のご芳名

磯 昭夫様、佐藤武利様、千葉信昭様、長谷川利一様、石渡信行様、眞庭由香様、青柳富子様、富田登美子様、高須みちよ様、井瀬良子様、柴田よし子様、豊川恭弘様、川瀬次夫様、工藤秋光様、齊藤徳之進様、齊藤雪乃様

★六月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、井瀬良子様、柴田よし子様、川瀬次夫様、磯 昭夫様、谷川 寛様、高須みちよ様、富田登美子様、青柳富子様、千葉信昭様、吉田あつみ様、工藤秋光様、齊藤徳之進様、齊藤雪乃様

お宮参り

平成二十八年四月以降、初宮参りに当社をご参拝なされた方々のご芳名を列記し、蛇窪大明神のご加護を心よりお祈り申し上げます。

山口真央ちゃん 幸田渚空くん
鈴木柚花ちゃん 中村奏太くん
太田廉人くん 藤原あおいちゃん
鈴木紗菜ちゃん 田中 徠くん

各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

毎月十日は各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内清掃奉仕をなさって下さいました。誠に有難うございます。

五月十日奉仕の方々のご芳名

二葉四丁目 眞川功四郎様、関谷 節子様
豊町五丁目 塚田サチ子様、浜野スミ子様
二葉三丁目 池田不二江様、川島ミヨ子様
戸越六丁目 佐久間初子様
豊町六丁目 原野 孝通様、小俣ヨシエ様

六月十日奉仕の方々のご芳名

二葉三丁目 小林 栄子様、山岸 勝代様
豊町五丁目 森谷ミツエ様、岩波 信乃様
戸越六丁目 広瀬ひろ子様、酒井レイ子様
豊町六丁目 芳賀 明美様
二葉四丁目 小林 英子様、田母神英子様

平成二十八年

例大祭執行について

来る七月十五日氏子総代会を開催し、今年度の例大祭予算案等につき御協議いたします。

氏子の皆様には、多大なる御理解・御協力賜り、楽しく実りある祭礼となりますようお願い申し上げます。

生命の言葉(七月)

人の人生は曲り角だらけだ

山本周五郎

小説「ながい坂」の中の台詞。

初めて挫折した時、きつと落ち込むだろう。

しかし気にする必要はない。

人の一生とは決して真っ直ぐなものではなく、そうした曲り角の連続なのだから。

山本周五郎(やまもと しゅうごろう)

明治三十六年(一九〇三)〜昭和四十二年(一九六七)。

小説家。本名、清水三十六(さとむ)。小学校卒業後、銀座の山本周五郎商店へ奉仕に出、そこで同人誌を書き始める。庶民の人情を描き、又歴史小説にも優れた作品を残した。直木賞他全ての賞を辞退し、生涯一つとして賞を受けることはなかった。

《神社ホームページ是非ご覧下さい。》

<http://www.hebikubo.jp>

〒一四二一〇〇四三

東京都品川区二葉四一四一十二

天祖神社々務所

TEL 〇三(三七八二)一七一

FAX 〇三(三七八二)一七一